

平成25年度 事業報告

公益財団法人の取得

健康管理事業団は、山梨県公益認定等審議会の審査を経て、平成26年4月より「公益財団法人 山梨県健康管理事業団」へと移行し新たなスタートを切った。今後も、県民の皆様一人一人が、健やかに安心して暮らせるような社会をつくる一助となれるよう職員一同心新たに公益法人としての責務を果たしていく。

特に、これからの公益事業として、広く県民の疾病予防に対する正しい知識の普及やがん対策の普及啓発活動などの事業を重点的に取り組んでいく。

また、県民の健康診断に関する豊富なデータを活用し、本県の健康課題を抽出するなど調査・研究事業を実施していく中で、県民の公衆衛生向上に寄与し、社会貢献を行っていく。

設立30周年記念式典・講演会の開催

健康管理事業団は、昭和58年4月、県・医師会・市町村の三者により設立され、30周年を迎えた。

これまで、老人保健法に基づく市町村の住民健診や、企業や学校健診の実施など県民の健康維持増進に大きく貢献してきた。

平成25年11月、甲府富士屋ホテルに於いて関係者の皆様をお招きし「健康管理事業団 設立30周年式典」並びに「記念講演会」を開催した。

式典では、薬袋理事長挨拶のあと、事業団理事・医師である 長田忠孝先生、日本対がん協会 阿南里恵 氏の両氏より健康をテーマに記念講演をいただき、多くの県民の方々も参加した。

I 健診事業

高齢化の急速な進展に伴い疾病構造も変化し、疾病全体に占めるがんなど悪性疾患や生活習慣病である高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の疾病が増加し、これらの疾病が医療費に占める割合は約3分1となっている。国の新たながん対策推進基本計画(平成24年度から28年度)では、がん検診の受診率を5年以内に50%達成を目標に掲げ、また特定健診等実施計画(平成25年度から29年度)では、特定健診受診率70%、特定保健指導実施率45%、メタボ減少率25%達成を目標としており、県や市町村等一丸となって達成に向けて取組んでいくとし、事業団は公益財団法人として県民から一層信頼できる施設として、より精度の高い健診・検査事業を推進に努めていく。

平成25年度は住民健診実績が、大月市未受診者健診があったことや、上野原市が昨年より実施日数が増えたことなどにより全体で950人増加した。しかし職域健診ではファンックなどの事業所の受託ができなかったことにより大幅に減少した。

また25年度より、県肝炎対策推進計画の一環として県からの助成を受けて、肝硬度値(肝臓の繊維化による硬さ)と肝脂肪値を数値で測定するフィブロスキャン測定装置を導入した。肝疾患や生活習慣病の予防対策に利用できる。

1 住民健康診査

(1) 基本的な健康診査

① 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする、県下12市町村より受託を受け、平成25年度は、40歳から74歳を対象とした特定健診10,198人、75歳以上の後期高齢者の健診2,802人、39歳以下の若年者の健診928人合せて13,928人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して950人増加した。メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当1,319人(9.5%)、予備群該当1,174人(8.4%)、非該当10,553人(75.8%)、判定不能(項目不足ため)882人(6.3%)であった。

【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
平成21年度	13	12,775	1,030	8.1%	1,733	13.6%	9,192	72.0%	820	6.4%
平成22年度	11	12,217	1,146	9.4%	1,548	12.7%	8,696	71.2%	827	6.8%
平成23年度	11	11,936	1,066	8.9%	1,507	12.6%	8,531	71.5%	832	7.0%
平成24年度	11	12,978	1,143	8.8%	1,130	8.7%	9,847	75.9%	858	6.6%
平成25年度	12	13,928	1,319	9.5%	1,174	8.4%	10,553	75.8%	882	6.3%
比較増減	1	950	176	—	44	—	706	—	24	—

【特定健康診査 ②階層化判定】

	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能	
平成21年度	13	9,107	602	6.61%	1,629	17.89%	6,937	76.17%	16	0.18%
平成22年度	11	9,646	608	6.30%	1,597	16.56%	7,441	77.14%	9	0.09%
平成23年度	11	9,491	559	5.89%	1,548	16.31%	7,379	77.75%	5	0.05%
平成24年度	11	10,375	318	3.07%	752	7.25%	9,304	89.68%	1	0.01%
平成25年度	12	10,198	233	2.28%	736	7.22%	9,221	90.42%	8	0.08%
比較増減	0	-177	-85	—	-16	—	-83	—	7	—

② 特定保健指導

平成25年度、特定健診を実施した12市町村のうち5市町から特定保健指導を受託し、積極的支援7人、動機づけ支援25人の指導を実施した。また積極的支援での実施者支援の効率化とメタボ脱出を目的としてコースを2コースから3コースに増やした。

(平成25年度の特定保健指導は平成26年7月末まで継続中)

【特定保健指導実施状況】

市町村名	積極的支援						動機づけ支援				
	H21	H22	H23	H24	H25		H21	H22	H23	H24	H25
年 度					コースA	コースC					
上野原市	2	7	6	7	8	1	6	20	5	6	8
都留市	12	6	7	34	23	13					
富士川町	13	22	11	9	10	3	11				
富士河口湖町			2	5	5	4			11	15	17
南部町	4	3	5	1	5	0					
合 計	31	38	31	56	51	21	17	20	16	21	25

注) 人数は、初回面接終了者数を計上

【特定保健指導結果】

最終評価終了者のなかでメタボ脱出した者は、平成23年度 45人中6人(13.3%)、平成24年度 72人中11人(15.3%)であった。

平成23年度(市町村合計)

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	25	6	31	10	6	16	35	12	47
途中終了者	1	0	1	1	0	1	2	0	2
最終評価終了者	24	6	30	9	6	15	33	12	45
メタボ脱出者	3	0	3	2	1	3	5	1	6
内服開始者	0	0	0	1	1	2	1	1	2

平成24年度(市町村合計)

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	42	14	56	6	15	21	48	29	77
途中終了者	5	0	5	0	0	0	5	0	5
最終評価終了者	37	14	51	6	15	21	43	29	72
メタボ脱出者	7	1	8	1	2	3	8	3	11
内服開始者	5	1	6	1	3	4	6	4	10

※メタボ脱出者:最終評価時、腹囲・BMIともメタボリックシンドローム判定基準以下を達成した者

※内服開始者:最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者

2 各種がん検診

平成25年度は市町村検診で大月市未受診者検診と上野原市の実施日数増加があったが、甲府市、富士吉田市(胃、超音波)の連携検診受診数が減少した影響があり、胃、超音波検診実施数が減少した。しかし、大腸がん検診は県教委、大月市、乳がん検診は大月市、甲府市個別の受託があり、増加となっている。

(1) 胃がん検診

平成25年度は、県下17市町村の住民10,455人、県職員及び事業所職員等3,766人合せて14,221人の検診を実施し、前年度と比較して398人減少した。

県医師会読影委員会による判定の結果、精密検査を要する者は1,428人 要精検率10.04%で、追跡調査の結果、精密検査を受診した者は996人、精検受診率69.75%であり、精密検査結果は、がん発見数5人(発見率0.035%)であった。

【胃がん検診実施状況】

	市町村	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成21年度	16	16,502	2,005	12.15%	1,345	67.08%	12	0.073%	
平成22年度	16	15,419	1,596	10.35%	1,132	70.93%	10	0.065%	
平成23年度	16	14,747	1,717	11.64%	1,194	69.54%	9	0.061%	
平成24年度	16	14,619	1,340	9.17%	895	66.79%	7	0.048%	
平成25年度	17	14,221	1,428	10.04%	996	69.75%	5	0.035%	
内訳	市町村	17	10,455	1,082	10.35%	800	73.94%	4	0.038%
	職域等	—	3,766	346	9.19%	196	56.65%	1	0.027%
比較増減	1	-398	88	—	101	—	-2	—	

【精検結果内訳・がん以外】

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃・十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
平成21年度	286	101	18	0	664	259
平成22年度	284	82	24	8	536	188
平成23年度	364	97	0	0	1,098	167
平成24年度	239	68	8	7	461	111
平成25年度	432	66	11	0	316	167
比較増減	193	-2	3	-7	-145	56

(不明者4人)

(2) 肺がん検診

平成25年度は、県下13市町村の住民 19, 178人、県職員及び事業所職員等4, 025人 合せて 23, 203人の検診を実施し、前年度と比較すると399人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は609人、要精検率2.62%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は447人、精検受診率73.4%であり、精密検査結果は、がん発見数は8人で、がん発見率は 0.034%であった。また、喫煙者(喫煙指数600以上)等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて311人が受診し、がんの発見はなかった。

【胸部検診実施状況】

	市町村数	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成21年度	12	20,732	642	3.10%	475	74.0%	9	0.043%	
平成22年度	11	20,732	571	2.75%	431	75.5%	7	0.034%	
平成23年度	11	21,585	459	2.13%	347	75.6%	15	0.069%	
平成24年度	11	23,602	643	2.72%	475	73.9%	13	0.055%	
平成25年度	13	23,203	609	2.62%	447	73.4%	8	0.034%	
内訳	市町村	13	19,178	555	2.89%	411	74.1%	8	0.042%
	職域等	—	4,025	54	1.34%	36	66.7%	0	0%
比較増減	2	-399	-34	—	-28	—	-5	—	

【肺がん喀痰細胞診実施状況】

	市町村数	受診者数 (検体数)	異常認めず	追加検査	要精検者数	精検受診者数	がん発見数	がん発見率
平成21年度	12	664	647	1	1	1	1	0.151%
平成22年度	10	586	569	3	0	0	0	0%
平成23年度	10	517	515	1	1	1	0	0%
平成24年度	10	247	241	0	0	0	0	0%
平成25年度	10	311	304		1	0	0	0%
内訳	市町村	10	250	247		1	0	0%
	職域	—	61	57		0	0	0%
比較増減	0	64	63		1	0	0	0%

(検体不良のため検査不能があり検体数と結果数が合わない)

(3) 大腸がん検診

平成25年度、県下12市町村の住民及び事業所職員など15,504人の検診を実施した。国のがん検診推進事業(無料クーポン配布)の効果や新たに県教委職員の実施などもあり受診者数が前年度に比較して1,946人増加した。受診者のうち市町村クーポン対象者は1,875人であった。

受診者のうち精密検査を要する者は844人で要精検率5.44%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は464人、精検受診率は55.0%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数23人(発見率0.148%)であった。

【大腸がん検診実施状況】

	市町村数	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診	がん発見数	がん発見率
平成21年度	13	12,745	688	5.40%	341	49.6%	11	0.086%
平成22年度	11	12,296	608	4.94%	310	51.0%	8	0.065%
平成23年度	11	12,525	616	4.92%	298	48.4%	11	0.088%
平成24年度	11	13,558	678	5.00%	382	56.3%	13	0.096%
平成25年度	12	15,504	844	5.44%	464	55.0%	23	0.148%
内訳	市町村	12,081	683	5.65%	412	60.3%	19	0.157%
	職域等	—	3,423	161	4.70%	52	32.3%	4
比較増減	1	1,946	166	—	82	—	10	—

【精検結果・がん以外】

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他	異常認めず
平成21年度	156	34	0	27	113
平成22年度	122	36	0	39	105
平成23年度	127	53	2	38	97
平成24年度	148	51	18	28	107
平成25年度	184	59	31	18	142
比較増減	36	8	13	-10	35

(4) 乳がん検診

平成25年度は、県下13市町村の住民8,202人、県教委及び事業所職員等1,188人(冬季限定で実施した一般住民85人、街頭キャンペーンで受診された者47人含む)合せて9,390人の検診を実施し、前年度に比較して681人増加した。受診者のうち市町村クーポン対象者は1,286人であった。検診内訳は、マンモグラフィのみ4,477人、視触診とマンモグラフィ併用2,817人、乳腺超音波検査のみ1,038人、視触診と超音波検査併用1,001人、その他57人であった。受診者のうち、精密検査を要する者358人で要精検率3.81%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は272人、精検受診率は76.0%で、精密検査結果は、がん発見数12人(発見率0.128%)であった。

また予防医学事業中央会が、日本宝くじ協会から助成を受けて整備した乳がんデジタル検診車が当事業団に配車された。

【乳がん検診実施状況】

	市町村数	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成21年度	12	8,772	480	5.47%	296	61.7%	10	0.114%	
平成22年度	12	7,429	419	5.64%	333	79.5%	10	0.135%	
平成23年度	11	8,013	516	6.44%	414	80.2%	12	0.150%	
平成24年度	11	8,709	372	4.27%	314	84.4%	16	0.184%	
平成25年度	13	9,390	358	3.81%	272	76.0%	12	0.128%	
内訳	市町村	13	8,202	311	3.79%	243	78.1%	11	0.134%
	職域等	—	1,188	47	3.96%	29	61.7%	1	0.084%
比較増減	2	681	-14	—	-42	—	-4	—	

【精検結果内訳・がん以外】

	乳腺症	線維腺腫	乳腺のう胞	その他	異常認めず
平成21年度	67	29	31	27	132
平成22年度	62	31	36	12	176
平成23年度	81	25	66	32	206
平成24年度	53	35	42	32	128
平成25年度	50	34	38	24	105
比較増減	-3	-1	-4	-8	-23

【平成25年度 実施方法別】

	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	4,477	176	3.93%	134	76.14%	6	0.134%
視触診+マンモグラフィ	2,817	138	4.90%	103	74.64%	5	0.177%
乳腺超音波	1,038	20	1.93%	15	75.00%	1	0.096%
視触診+乳腺超音波	1,001	24	2.40%	20	83.33%	0	0%
その他組合せ	57	0	0%	0	0%	0	0%

(5) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診を事業団施設にて協会けんぽ対象事業所健診及びレディース健診で実施した。平成25年度は、受診者162人で、前年度と比較して23人増加した、精密検査を要する者は0人であった。

【子宮頸がん検診実施状況】

	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率
平成21年度	265	0	0%	—	—
平成22年度	236	1	0.42%	1	0.42%
平成23年度	177	0	0%	0	0%
平成24年度	139	4	2.88%	1	0.72%
平成25年度	162	0	0%		
比較増減	23	-4	—	-1	—

(6) 腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、平成25年度は、17市町村の住民19,438人、事業所職員等815人合せて20,253人の検診を実施し、前年度と比較して201人減少した。受診者のうち精密検査を要する者は746人で要精検率3.68%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は472人、精検受診率は63.3%で、精密検査結果は、肝がん5人、腎臓がん1人、膵臓がん1人その他1人合計でがん発見数は8人(発見率0.04%)であった。

【腹部超音波検診実施状況】

	市町村	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	
平成21年度	18	21,441	666	3.11%	426	64.0%	
平成22年度	16	19,349	692	3.58%	437	63.2%	
平成23年度	16	19,626	893	4.55%	557	62.4%	
平成24年度	16	20,454	1,083	5.29%	645	59.6%	
平成25年度	17	20,253	746	3.68%	472	63.3%	
内訳	市町村	17	19,438	723	3.72%	468	64.7%
	職域等	—	815	23	2.82%	4	17.4%
比較増減	1	-201	-337	—	-173	—	

【臓器別がん発見数・率・各疾患別】

	がん							臓器別疾患数						
	肝臓 (転移 性含)	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん 発見 率	肝臓 疾患	胆のう 疾患	腎臓 疾患	膵臓 疾患	脾臓 疾患	その他 所見	異常認めず
平成21年度	4	1	6	1	2	14	0.065%	91	135	61	60	3	25	37
平成22年度	7	0	1	0	0	8	0.041%	100	136	60	57	5	6	53
平成23年度	3	1	2	2	3	11	0.056%	215	259	115	76	5	49	58
平成24年度	5	0	0	1	4	10	0.049%	157	201	66	76	1	46	64
平成25年度	5	0	1	1	1	8	0.040%	96	96	55	92	2	69	51
比較増減	0	0	1	0	-3	-2	—	-61	-105	-11	16	1	23	-13

(各臓器は重複所見)

(7) 前立腺がん検診（PSA検査）

平成25年度は、県下10市町村の住民及び、事業所等3,664人の検診を実施し、前年度に比較して258人増加した。受診者のうち精密検査を要する者は231人で要精検率(6.30%)であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は128人、精検受診率は(55.4%)で、精密検査結果の内訳は、がん発見数は16人(発見率0.437%)でがん疑いの者39人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

	市町村	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
平成21年度	10	2,876	213	7.41%	84	39.4%	9	0.313%	41	
平成22年度	9	2,502	176	7.03%	102	58.0%	14	0.560%	41	
平成23年度	9	2,745	116	4.23%	58	50.0%	7	0.255%	16	
平成24年度	9	3,406	154	4.52%	89	57.8%	14	0.411%	23	
平成25年度	10	3,664	231	6.30%	128	55.4%	16	0.437%	39	
内訳	市町村	10	3,211	224	6.98%	125	55.8%	16	0.498%	39
	職域等	—	453	7	1.55%	3	42.9%	0	0%	0
比較増減	1	258	77	—	39	—	2	—	16	

	前立腺肥大	その他	異常認めず
平成21年度	18	5	11
平成22年度	26	3	18
平成23年度	22	6	17
平成24年度	25	3	16
平成25年度	31	7	35
比較増減	6	4	19

(8) フィブロスキャン検診

平成25年度は、富士川町、早川町の住民198人の検診を実施した。平成26年度においては、富士河口湖町、道志村が予定し、今後も市町村に働きかけて受託を進めて行く。

検診実施方法としては、早川町は総合検診の一環として希望者を実施し、富士川町は、特定健診項目脂質及び肝機能異常者、超音波検査で脂肪肝の判定を受けた者を抽出し、後日2日間で行った。受診者のうち肝硬度値の精密検査を要する人は20人、肝脂肪値の要精検39人であった。

	市町村	受診者数		異常認めず		要観察		要精検		判定不能	
		肝硬度	脂肪値	肝硬度	脂肪値	肝硬度	脂肪値	肝硬度	脂肪値	肝硬度	脂肪値
平成25年度	2	198	198	127	52	48	96	20	39	3	11
比較増減											

基準値	異常認めず	要観察	要精検
肝硬度(kPa)	0～5.9	6.0～11.9	12.0～
脂肪量(bB/m)	0～199	200～289	290～

山梨大学医学部附属病第一内科 基準

(9) 結核検診

平成25年度は、県下12市町村の住民及び県職、県教委、事業所職員、高校の生徒等合せて45,117人の検診を実施し、高校の生徒の減少などで前年度に比較して1,429人減少した。

受診者のうち精密検査を要する人は770人、要精検率1.71%であった。追跡調査の結果、精密検査を受けた者は540人、精検受診率70.1%であり、結核感染者は0人であった。

【結核検診実施状況】

	市町村	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者	精検受診率	発見患者数	患者発見率	肺がん	異常認めず
平成21年度	13	40,826	836	2.05%	561	67.11%	0	0%	0	561
平成22年度	12	46,042	879	1.91%	578	65.76%	1	0.002%	0	245
平成23年度	12	45,963	663	1.44%	450	67.87%	0	0%	3	186
平成24年度	12	46,546	827	1.78%	557	67.35%	0	0%	4	385
平成25年度	12	45,117	770	1.71%	540	70.13%	0	0%	0	226
比較増減	0	-1,429	-57	—	-17	—	0	—	-4	-159

3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員、市町村教職員と県職員、県教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業などを合わせて15,146人の健診を実施し、前年度と比較して2,684人減少した。

減少理由としては、市町村職員(笛吹市、富士川町)、民間企業健診ではファナックなどの委託がなくなったためである。

【職域検診実施状況】

	市町村教職員	市町村職員	県教職員	県職員	大学・専門学校	民間企業等	合計
平成21年度	1,664	1,211	2,072	2,936	3,283	6,397	17,563
平成22年度	1,651	706	2,150	2,615	3,048	6,886	17,056
平成23年度	1,601	1,059	2,221	2,878	2,792	7,336	17,887
平成24年度	1,585	1,046	2,132	2,877	2,786	7,404	17,830
平成25年度	1,572	250	1,639	2,745	2,818	6,122	15,146
比較増減	-13	-796	-493	-132	32	-1,282	-2,684

4 学校保健安全法

(1) 心臓検診

平成25年度は、県教委関係43校、市町村教委57校の児童、生徒の12誘導心電図で11,409人、心電心音406人の検査を実施し、児童、生徒数の減少のため、前年度に比較して心電図で216人減少し、心電心音では55人減少した。

心電図検査の要精検者数は608人、精検率5.33%で、心電心音図検査の要精検者数は21人精検率5.17%であった。児童、生徒とも不完全右脚ブロック・異常Q波・左室肥大の疑い所見が多く発見された。

【心電図・心音図検査実施状況】

	心電図検査			心音図検査			前年度対比率
	受診者数	要精検者数	精検率	受診者数	要精検者数	精検率	
平成21年度	11,372	766	6.74%	501	36	7.19%	
平成22年度	11,369	642	5.65%	477	25	5.24%	100.0%
平成23年度	11,750	517	4.40%	507	26	5.13%	103.4%
平成24年度	11,625	553	4.76%	461	52	11.28%	98.9%
平成25年度	11,409	608	5.33%	406	21	5.17%	98.1%
比較増減	-216	55	—	-55	-31	—	—

(2) 寄生虫卵検査

平成25年度は、市町村教委の児童、保育園等の幼児合わせて44,752人の検査を実施し、少子化等が影響して前年度に比較して1,230人減少した。寄生虫卵検査の保卵者数は3人、保卵率0.007%であった。

※学校保健安全法施行規則の改正により平成28年4月1日より児童、生徒等の健康診断において、寄生虫卵の有無の検査について、必須項目から削除することとされた。

【寄生虫卵検査実施状況】

	実施件数	保卵者	蟯虫	その他の寄生虫卵	保卵率
平成21年度	56,121	6	6	0	0.011%
平成22年度	53,215	2	2	0	0.004%
平成23年度	48,446	7	7	0	0.014%
平成24年度	45,982	1	1	0	0.002%
平成25年度	44,752	3	3	0	0.007%
比較増減	-1,230	2	2	0	—

(3) 尿検査

平成25年度は、県教委、市町村教委の児童、生徒及び保育園の幼児等45,990人の検診を実施し、前年度に比較して3,184人減少した。

1次検査の陽性者1,107人(陽性率2.4%)のうち、2次検査を968人を検査し陽性者は223人(陽性率23.0%)であった。

【尿検査実施状況】

	第1次検査			第2次検査			第1次検査内訳				第2次検査内訳			
	受診者数	陽性者	陽性率	受診者数	陽性者	陽性率	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
平成21年度	54,509	1,168	2.1%	971	247	25.4%	44	217	864	43	5	28	203	11
平成22年度	52,841	1,117	2.1%	951	189	19.9%	45	235	799	38	12	22	146	9
平成23年度	50,403	1,069	2.1%	900	173	19.2%	58	160	820	31	15	14	139	5
平成24年度	49,174	1,096	2.2%	923	201	21.8%	44	262	758	32	10	41	140	10
平成25年度	45,990	1,107	2.4%	968	223	23.0%	45	267	769	26	12	47	153	11
比較増減	-3,184	11	—	45	22	—	1	5	11	-6	2	6	13	1

(4) 血液貧血検査

平成25年度は市町村教委の児童、生徒等の1,452人の検査を実施し、前年度に比較して18人減少した。

軽度異常者は44人(異常率3.03%)要精検者3人(精検率0.21%)であった。

【貧血検査実施状況】

	受診者数	軽度異常者数	軽度異常率	要精検者数	精検率
平成21年度	1,497	71	4.74%	7	0.47%
平成22年度	1,430	82	5.73%	6	0.42%
平成23年度	1,506	74	4.91%	8	0.53%
平成24年度	1,470	54	3.67%	8	0.54%
平成25年度	1,452	44	3.03%	3	0.21%
比較増減	-18	-10	—	-5	—

Ⅱ がん対策

山梨県において昭和58年からがんは死亡原因の第1位であり、全死亡者の3分の1を占めている。また、国の推計によると、男性の2人に1人、女性の3人に1人が将来がんになるかとされている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、「がん」の総合的な対策を推進している。

健康管理事業団は、県の委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営などさまざまながん対策を行っている。

また、事業団は日本対がん協会山梨県支部を兼ねており、9月のがん征圧月間中に普及啓発などを展開した。さらに、設立30周年記念講演会の開催や県主催の行事に参加し、がん検診受診率向上に向けた啓発活動を積極的に行った。

1 がん相談

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に保健師、ピアサポーターの面接及び電話による三位一体でがん患者の相談にあたり、がん患者やその家族の不安や悩みの解消に努めた。

医師相談	6件
保健師相談	40件
ピアサポーター相談	32件

2 医師によるがん・健康相談

県民の日記念行事において来場者に向けて医師の面接相談を行った。

相談者	12名
-----	-----

3 講演会の開催

設立30周年記念式典を開催し、記念講演会を行った。

まず初めに、事業団理事・医師の長田忠孝先生が「高齢社会における健診事業のあり方を考える」をテーマに講演を行い、続いて、日本対がん協会の阿南里恵氏が「大切なあなたに」をテーマに講演を行った。

11月27日・甲府富士屋ホテル
出席者 200名

4 受診率向上のための普及啓発活動

・がん征圧月間街頭キャンペーン

9月4日	甲府駅周辺	参加者22名
9月21日	イツモア赤坂店 (富士河口湖町)	参加者16名

・いきいき山梨ねりんピック

9月28日	小瀬スポーツ公園	参加者4名
-------	----------	-------

・県民の日記念行事

11月16・17日	小瀬スポーツ公園	参加者26名
-----------	----------	--------

Ⅲ 普及啓発活動

1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載をするとともに、9月4日に甲府駅周辺において、県と県がん検診受診率向上プロジェクト企業5社等の協力のもとがん検診啓発のチラシ、フィルターコーヒーを配布し、街頭キャンペーンを実施した。

また、富士河口湖町のイツモアを会場に県や富士河口湖町、富士北麓の企業の協力のもとチラシ等の配布や来場者対象に乳がん検診を行った。

そのほか、県下全市町村、医療機関、事業所等にごがん予防知識啓発用ポスター及びリーフレットを配布した。

2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月25日に、JR甲府駅構内において、県、県愛育連合会、連合婦人会等関係機関の協力のもと、結核予防普及啓発資料の配布などによる結核予防街頭キャンペーンを実施した。

3 講演会の開催（再掲）

設立30周年記念講演として、がん検診を推進している県・市町村・関係団体の関係者、がん患者やその家族及び一般の県民が集まり、これからの健診事業のあり方、また講師自身のがん闘病の話から、「がん」や「がん予防」について考える機会とした。

11月27日・甲府富士屋ホテル

出席者 200名

4 各種イベントへの参加

県が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを次のとおり実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

(1) 平成25年9月28日（土）

○ 県主催「いきいき山梨ねりんピック」 於 小瀬スポーツ公園

- ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、事業団パンフレット等配布
- ・健康教育パネルの展示

(2) 平成25年11月16・17日（土・日）

○ 県主催「第28回県民の日記念行事」 於 小瀬スポーツ公園

- ・医師による「がん相談・健康相談」の実施 相談者12名
- ・血圧、骨密度、活力年齢測定
- ・乳がん視触診モデル体験（40才以上希望者にはマンモグラフィ無料クーポン配布）
- ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、事業団パンフレット等配布
- ・健康教育パネルの展示

(3) 平成25年10月27日(日)

- 山梨県臨床衛生検査技師会主催「乳がん予防啓発キャンペーン」於 イオンモール
 - ・乳がん視触診モデルを使用した触診法の指導
 - ・乳がん自己触診法リーフレット、乳がん予防冊、がん患者サポートセンターパンフレット等配布、

(4) 平成26年3月23日(日)

- 山梨県中小企業中央会主催「介護健康フェア」 於 アイメッセ山梨
 - ・脈拍測定検査
 - ・保健師による生活習慣病指導

5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

7 その他広報資料の配付

事業団広報誌「健康管理事業団だより」を年3回発行している。また、結核予防会発行の「複十字」「健康の輪」、日本対がん協会発行の「対がん協会報」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配付し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

IV 研修事業

1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

名 称		開 催 月 日	参 加 人 員
結核 予 防 会	平成25年度関東甲信越地区結核予防婦人団体幹部研修会	11月22日	3人
	平成25年度結核予防会胸部検診対策委員会	12月5日～6日	1人
	平成25年度関東甲信越支部ブロック会議(山梨県開催)	12月6日	13人
	第18回結核予防関係婦人団体中央講習会	2月12日～13日	2人
	平成25年度結核予防会事業協議会総会	2月28日	1人
日 本 対 が ん 協 会	2013年 全国事務局長会議	7月1日	2人
	がん征圧全国大会	9月11日～13日	1人
	平成25年度関東甲信越支部連絡協議会	11月8日	2人
	第4回乳房超音波技術講習会	2月7日～9日	1人
	第37回保健師・看護師研修会	3月6日～7日	2人
予 防 医 学 事 業 中 央 会	平成25年度第1回「全国運営会議」	6月14日	1人
	平成25年度第2回「全国運営会議」	10月17日	1人
	第58回予防医学事業推進全国大会	10月18日	1人
	平成25年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議	10月22日～23日	6人
	平成25年度保健指導研修会	12月12日～13日	2人
	平成25年度予防医学技術運営会議	2月26日	2人
	平成25年度第48回予防医学技術研究会議	2月27日～28日	4人

2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等へ職員を参加させた。

名 称	開 催 月 日	参 加 人 員
〈総務部〉		
(公財)栃木県保健衛生事業団 視察訪問	5月2日	3人
(公財)長野県健康づくり事業団 視察訪問	10月7日	3人
公益法人移行後の予算編成実務特別講習会	11月21日	1人
(公財)神奈川県予防医学協会 視察訪問	2月26日	4人
(公財)静岡県予防医学協会 視察訪問	3月5日	13人
〈健診部・検査課〉		
第54回日本臨床細胞学会総会(春期大会)	6月1日～2日	3人
第38回日本超音波検査学会学術集会	6月15日～16日	1人
腹部エコーマスター講座	9月29日	2人
日本超音波学会 関東甲信越地方会議第25回学術集会	10月19日	1人
乳房超音波検査を学ぼう2013 ベーシック編	10月20日	2人
平成25年度 臨床検査精度管理調査報告会	3月7日	1人
全国がん検診指導者講習会	3月15日	2人
自動分析装置講習会	3月20日	2人
乳房超音波検査を学ぼう2013 症例編	3月21日	1人
〈健診部・放射線課〉		
第21回日本CT健診学会学術集会	2月13日～15日	3人
第4回マンモグラフィシステムユーザー会	2月2日	2人

- 3 県内の8つの検診機関等で構成する山梨県検診実施機関連絡協議会が3月7日に開催され、事業団もこれに参画し、精度管理向上に向けた諸課題に取り組んだ。

V 会議の開催

1 理事会・評議員会

- (1) 平成25年6月26日 於 山梨県医師会館6F会議室

「理事会・評議員会」

役員の変更、平成24年度事業報告、一般会計及び救急医療情報システム特別会計決算報告、平成25年度一般会計補正予算(案)について審議が行われ、可決承認された。

- (2) 平成26年3月26日 於 山梨県医師会館6F会議室

「理事会・評議員会」

平成26年度事業計画(案)、主要事業・報告について、平成26年度一般会計及び救急医療情報システム特別会計収支予算(案)について審議が行われ、可決承認された。

2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会を平成26年2月4日に開催し、事業団の経営状況、施設整備基本構想等について委員の方々から意見をいただいた。

3 結核予防会関東甲信越ブロック会議

平成25年12月6日、平成25年度 結核予防会関東甲信越ブロック会議を当番県として開催した。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）スクリーニング健診と禁煙指導教室の実施状況など14議題について議論した。

VI 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、適切な医療情報の提供に努めている。平成25年度の救急案内件数は18,642件で、前年度と比較すると小児救急センター電話相談の拡充により夜間、休日の小児科案内の減少や、インフルエンザ等の大幅な流行がなかったことなどを受け691件減少した。

現在、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供を行う業務を実施している。

1 業務内容

- (1) 情報の収集業務（医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集）
- (2) 情報の提供業務（患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供）
- (3) 各種統計の作成業務

2 年度別案内件数

(件)

年度	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145
年度	H21	H22	H23	H24	H25	合計				
件数	21,254	19,368	18,917	19,333	18,642	287,655				

3 案内状況

(件)

種 別		平成24年度	平成25年度
救急医療情報センター案内件数		19,333	18,642
受付時間別案内件数	深夜(0時～8時)	2,356	2,374
	日中(8時～18時)	9,825	9,461
	準夜(18時～24時)	7,152	6,807
診療科目別案内件数	内 科	7,152	5,988
	小 児 科	2,784	2,631
	整形外科	2,684	1,943
	外 科	1,874	2,662
	眼 科	1,255	1,160
	耳鼻咽喉科	1,185	1,180
	歯 科	1,192	1,177
	脳神経外科	550	643
	皮 膚 科	461	490
	産 婦 人 科	229	210
	泌 尿 器 科	219	209
	精神神経科	84	74
	そ の 他	84	275
計	19,333	18,642	